

# 「知」の集積と活用場によるイノベーションの創出のうち オープンイノベーション研究・実用化推進事業

【令和6年度予算概算決定額 1,194（671）百万円】

## <対策のポイント>

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資するイノベーションを創出し、社会実装を加速するため、産学官が連携して取り組む基礎研究や実用的な技術開発研究を支援します。本事業は、原則として、研究コンソーシアム（共同事業体）で応募していただきます。 ※イノベーション創出強化研究推進事業で実施している継続課題については、同事業で引き続き支援します。

## <事業目標>

研究成果の70%以上が、次のステージの研究や農林水産・食品産業の現場において普及・活用 [令和9年度まで]

## <事業の内容>

### 1. 基礎研究ステージ

将来、農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究を支援します。

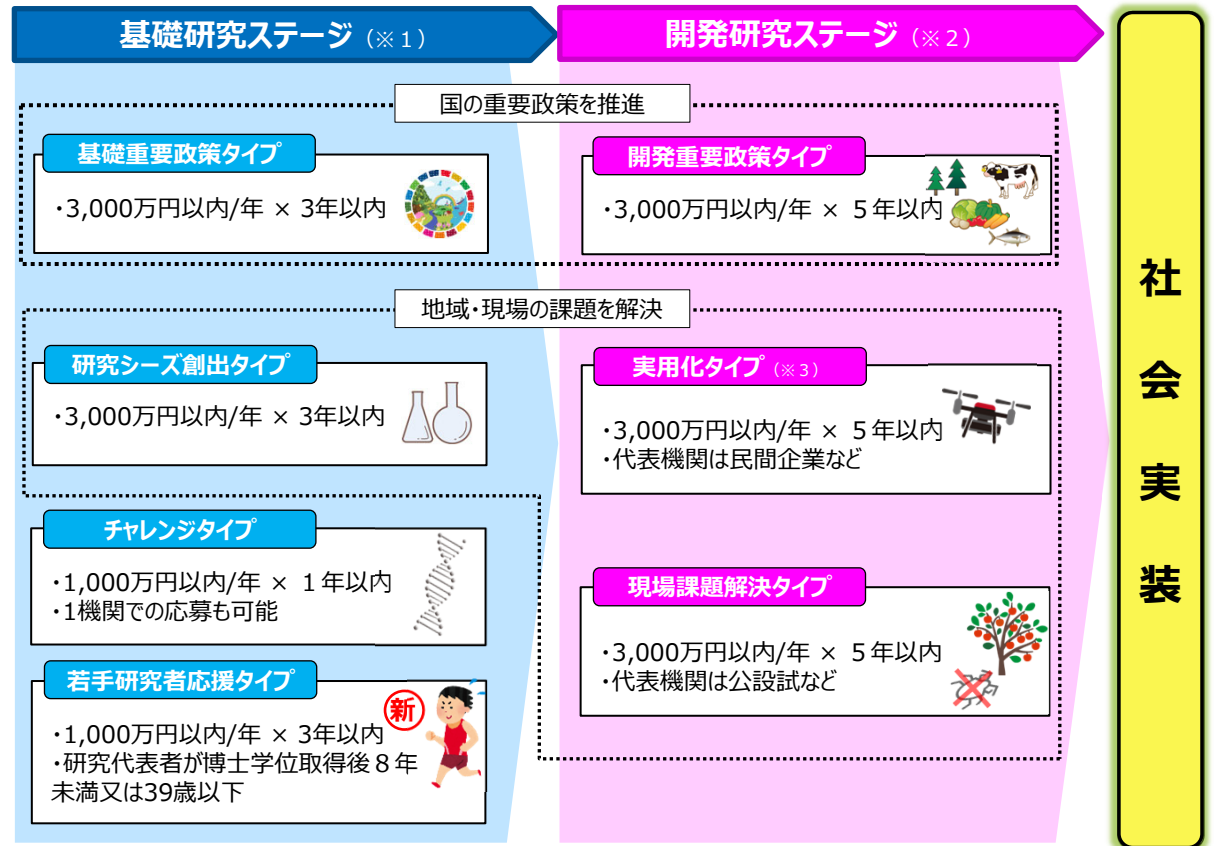
- ① **基礎重要政策タイプ**  
みどりの食料システム戦略や、輸出戦略及び国が提示した重要政策を解決するための研究シーズを創出する研究
- ② **研究シーズ創出タイプ**  
農林水産業・食料産業の発展につながる革新的な研究シーズを創出する研究
- ③ **チャレンジタイプ**  
新たなアプローチや考えによる独創的でチャレンジングな研究
- ④ **若手研究者応援タイプ**  
若手研究者に研究代表者として活躍の場を提供し、若手ならではの新しい視点で未来を変える研究

### 2. 開発研究ステージ

基礎研究ステージ等の研究成果を社会実装するための実用的な研究を支援します。

- ① **開発重要政策タイプ**  
みどりの食料システム戦略や、輸出戦略及び国が提示した重要政策を解決するための研究
- ② **実用化タイプ**  
研究成果を商品化又は事業化することなどにより収益化を目的とする民間企業発の研究
- ③ **現場課題解決タイプ**  
地域ブランド品種の育成や、地域条件に応じた新しい栽培体系の構築など公益性の高い地域発の研究

## <事業イメージ>



※1 優れた研究成果を創出した研究課題は、移行審査により次のステージへ優先的に採択することで、シームレスな研究が可能。  
 ※2 年度途中で緊急に研究の実施が必要とされる事由が生じた場合、緊急対応課題研究を実施。  
 ※3 開発研究ステージ「実用化タイプ」において、参画する民間企業にマッチングファンド方式を適用。

<事業の流れ> ①公募 → ②応募 → ③審査・採択 → ④採択された課題は委託費を受けて研究を実施

[実施機関：生物系特定産業技術研究支援センター]